

2023年1月23日

報道機関 各位

地域文化研究会 公開研究会（講演会）の開催（お知らせ）

長崎大学附属図書館地域文化研究会は長崎大学の研究者による学部横断的な研究グループです。年に一度、市民の皆様にご参加いただける公開研究会を実施しています。

今年度は多文化社会学部のルディ・トート先生による講演です。日本語の講演ですのでどなたでもお気軽にご参加ください。

■日 時：2023年1月27日（金）13：30～15：30

■場 所：長崎歴史文化博物館1階ホール（入場無料）

■講 師：ルディ・トート（長崎大学多文化社会学部助教）

■演 題：平戸・出島 オランダ商館員の日本語習得とその禁止・許可をめぐって
—17世紀を中心に— 【日本語】

<概要>

ポルトガル船で長崎に来ていたイエズス会士たちは、『日葡辞書』を始め、1600年前後に質の高い日本語資料を出版した。一方で、平戸・出島のオランダ商館員たちは、ケンペルの語彙集などを除き、トゥーンベリやティチングが登場する1770～1780年代まで現在に伝わる日本語学習・研究資料が全くない。

その理由の一つとして、「外国人の日本語学習の禁止」が挙げられることがあるが、ケンペルは、自身の著書『日本誌』によれば将軍の前で堂々と日本語を話していた。商館員たちの日本語学習は本当に禁止されていたのか？

日本語が上達し過ぎた商館員のバタヴィア（ジャカルタ）への送還や、日本語習得の公式な許可、オランダ東インド会社による「オランダ人通詞」の派遣の試みなど、史料に丹念にひも解いてその真相に迫る。有名なじゃがたらお春も意外な形で登場する。

■お申込不要です。直接会場にお越しください。

発熱等、体調がすぐれない方のご入場はお断り申し上げます。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学附属図書館総務担当

libsoumu@ml.nagasaki-u.ac.jp（@を@に変えてください。）

<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/>

2022 年度 長崎大学附属図書館
地域文化研究会 公開研究会

平戸・出島オランダ商館員の 日本語習得とその禁止・ 許可をめぐるって —17 世紀を中心に—

ルディ・トート 先生
(長崎大学多文化社会学部) ※日本語

オランダ出身・博士(文学)

ライデン大学人文学部卒業(日本学専攻)、京都大学大学院文学研究科博士後期課程研究指導認定退学
2018 年4月より長崎大学多文化社会学部助教

日時

2023 年

1 月 27 日 (金)

13:30 (13 時開場)

～ 15:30

入場無料

場所

長崎歴史文化博物館ホール

(長崎市立山1丁目1-1)

※当日熱がある場合は入場をお断りします。

問い合わせ

長崎大学附属図書館

TEL: 095-819-2192

e-mail: libsoumu@ml.nagasaki-u.ac.jp